

令和4年度地域イノベーション創出に向けた実践的教育研究推進プログラム(地域実践型リカレント教育講座)採択一覧

No.	部局名	代表者氏名	事業名	事業概要
1	地域学部	村田 周祐	失われつつある在地知の継承と創造	<p>智頭の山中には、薬草、花木、山菜、きのこなど、木材以外の山の恵みが多く存在している。しかし、それらを同定・育成・収穫・加工・利用する術は家や職場に閉じられてきた。その結果、後継者不足のなかで、その在地知は消滅の危機にある。</p> <p>そこで、本プロジェクトでは、移住者を中心とした20～40代から構成される次世代の智頭林業の担い手集団である「智頭ノ森ノ学ビ舎」を母体に、山中での実技を中心とした「山から木材以外の糧を得るためのリカレント教育(8時間×年8回=64時間)」を実施する。また、在地知の継承にとどまらず現代社会のニーズに応じた創造おこなっていく。</p>
2	工学部	小野 勇一	ものづくり指導者養成講座	<p>地域の幼児・児童・生徒へものづくりを指導する、指導者を養成するための講座です。一般・大学生を対象とした「指導者養成講座」と、中学・高校生を対象とした「ジュニアリーダー養成講座」に分けて実施します。</p> <p>○指導者養成講座(一般、大学生対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎講座(必修) 2時間 ・指導法(必修) 2時間 ・専門講座(選択) 2時間×2回 = 4時間 ・実地演習(必修) 4時間 <p>○ジュニアリーダー養成講座(中高生対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎講座(必修) 2時間 ・指導法(必修) 2時間 ・専門講座(選択) 2時間×2回 = 4時間 ・実地演習(必修) 4時間 <p>○応用講座</p> <p>既受講者を対象に2時間の講習を実施します。</p> <p>専門講座は年度内に、紙・布工作、木工、金工、機械、電気・電子、化学、食品、家庭、農学、工場見学などの内から4～5講座開講し、受講者はそれぞれが2講座を受講します。</p>

No.	部局名	代表者氏名	事業名	事業概要
3	農学部	松村 一善	公開講座 農業経営管理の基礎を学ぼう 公開講座 農業経営スキルアップ講座-個別課題の解決に向けて-	<p>【公開講座 農業経営管理の基礎を学ぼう】 鳥取県が策定した「鳥取県農業活力増進プラン」では、農業の担い手を確保するために新規就農者の2000人増加を目指している。これらの新規就農者等が定着し、今後の鳥取県農業を担っていくためには、農業経営の体質強化・そのための農業者の経営管理能力の向上、これらに向けた関係機関による指導の強化が課題となっている。 本講座では、こうした要請に答える目的で、農業経営管理の基礎を演習方式で指導・教育する。 本講座では農学部農業経営学研究室で開発し、全国で利用されている農業簿記ソフトウェア、農学部元教員が開発し無償で提供されている線形計画法プログラムを用いた講義・演習を行う。</p> <p>【公開講座 農業経営スキルアップ講座-個別課題の解決に向けて-】 近年、経営面積規模の拡大を図る経営、生産物の直接販売によりビジネスサイズの拡大を図る経営が増加してきている。しかし、これらの担い手経営は、経営規模を拡大する過程で地域での農地資源管理・合意形成場面での課題や、ビジネスサイズを拡大する過程でのマーケティングの課題に直面している。本講座では、こうした担い手経営が直面する課題解決に資する手法を演習方式で、指導・教育する。 「GISを活用した農地管理」で演習に用いる「一筆圃場管理システム」は、農学部農業経営学研究室で開発を続けている農業用GISであり、全国で利用されている。「マーケティング・リサーチ手法を活用した商品企画」ではこれまで実績のあるグループインタビューを活用したマーケティング・リサーチ手法を学び、消費者ニーズを把握した商品企画を行うための方法を習得する。</p>
4	農学部	竹村 圭弘	公開講座・ナシ栽培生理講座	<p>本活動は鳥取県の梨生産者に対して、鳥取大学で開発した技術や品種についての講義を実施し、産地の活性化に寄与するものである。本活動で行う講座は毎年40名以上が受講しており、前年度の成果を踏まえた改善点として、本年度は新規就農者や若手地域リーダーへの新技術の紹介に力を入れていきたいと考えている。</p>